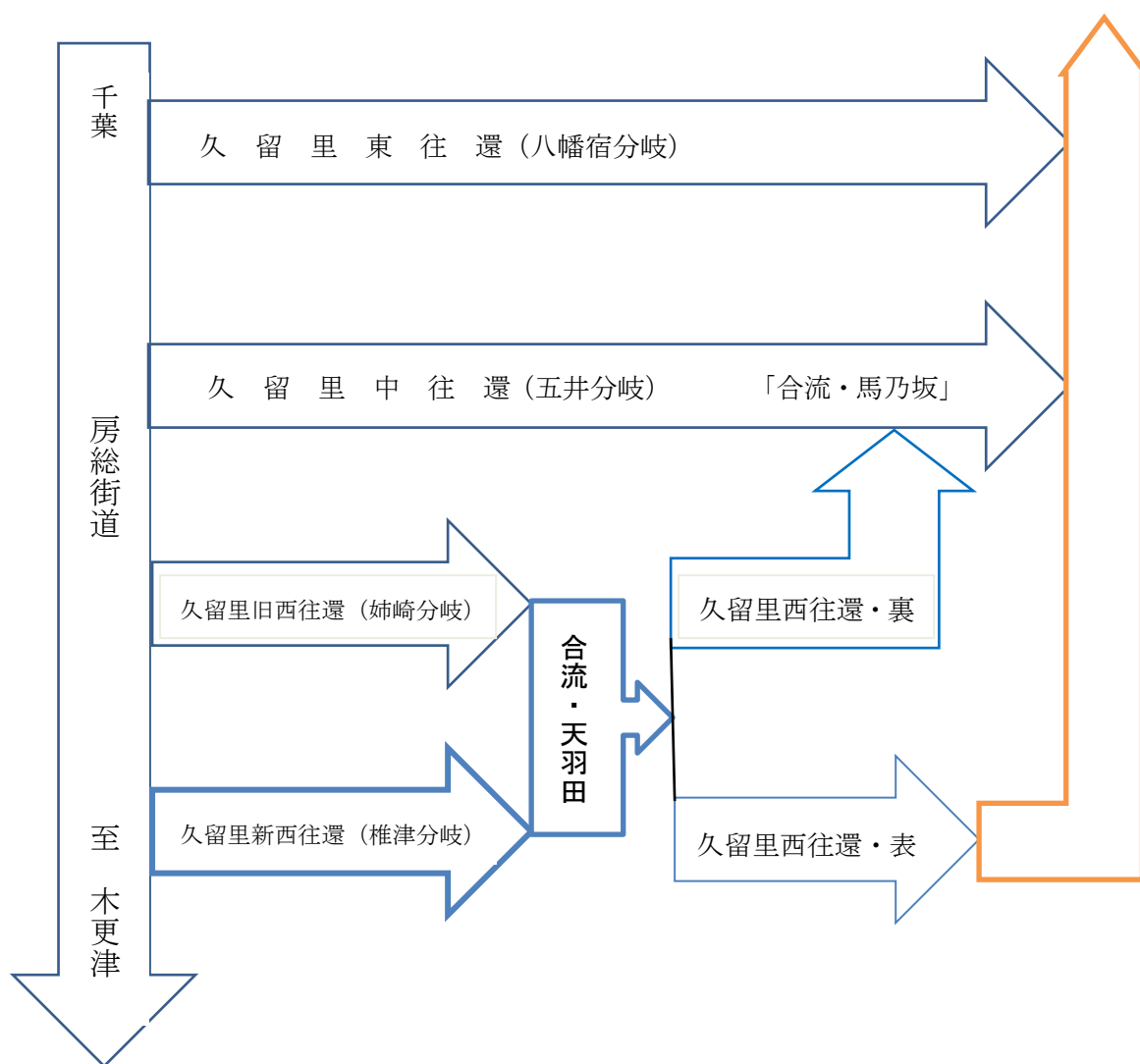


# 久留里新西往還

久留里新西往還は千葉と木更津を結ぶ房総街道の瑞安寺前から分岐して山側に入る。  
ここから約3 km程先で久留里旧西往還と合流する。



調査2015年10月～



上左： 瑞安寺。上右：瑞安寺前の分岐点

久留里新西往還は千葉と木更津を結ぶ房総街道の瑞安寺前から分岐して山側に入る。  
ここから約3 km程先で久留里旧西往還と合流する。

住所：市原市椎津 海拔高度 3.8m

北緯 35° 28′ 19.75″ 東経 140° 01′ 59.78″

## 千葉県指定無形民俗文化財

### 椎津のカラダミ

椎津のカラダミは、市原の代表的中世城郭椎津城跡の麓、椎津地区で毎年8月15日に行われている盆行事です。

早朝、乞食坊主や乞食役の団子貰いで行事は始まります。夕方瑞安寺で伝説上の椎津城主椎津小太郎や水難者などの供養を行い、宵からジャラボコと呼ばれる万灯（山車）が練り歩きます。

最後に生きた人が入った棺を担いだ飯の葬列・カラダミの行列が万灯と逆のコースを辿って瑞安寺に入ります。かつて万灯は、瑞安寺の前から出発し正坊山城跡に至る地藏坂の入り口付近が到着地になっていたようです。

お盆に万灯を飾ることは他の地区でも行われたようですが、遺骸を伴わない葬儀・カラダミ（空茶毘の訛りか）は、類例の少ない珍しい民俗行事とされています。カラダミの由来には、水難者などの供養に椎津城落城の伝説が重ね合わされているようです。



上左：  
推津のカラダミに関して書かれた立看板は久留里新西往還に入って直ぐの右手に立っている。  
内容は前頁に記載した通りである。

上右： 出番前の完成したジャラボコ  
2016年8月15日市原市教育委員会主催で「推津城跡と推津のカラダミ」との歴史セミナーが開催された。丁度カラダミの開催される日でセミナー途中推津城や界隈を歩いていたら、乞食坊主に会ったりする事が出来た。

右：  
瑞安寺前のカラダミ案内立看板を過ぎると直ぐに登り坂になる。



左  
登り坂は約600m程続く。  
切通しは石垣で土砂が崩れるのを防いでいる。



上：  
そろそろ登り坂が終わりに近くなると、住宅が見えてくる

下：  
住宅街を抜けると、新しい道路の「平成通り」に斜めに交差する。  
椎津 標高 38.7 m  
北緯 35° 27' 52.04"  
東経 140° 2' 9.69"



左：  
平成通りを通り過ぎると、久留里新西往還は、椎津新田の住宅街に入る。  
手前の広場は幼稚園の運動場となっているが、往還はここを横切っていたと思う。



左：  
椎津新田の通り。  
左右に大きな家が並んでいる。

右：  
 椎津新田の宅地は、広い。  
 椎津城のお屋敷ではなかったら  
 うか。  
 屋敷内の木々も歴史を感じさせ  
 る太さや高さである。  
 後に調べてみたい案件である



写真：左  
 椎津新田からの道はやがて三叉路に出る。  
 左久留里方面・右平成通り方面  
 袖ヶ浦市代宿 標高43.3m  
 北緯 35° 27' 18.61"  
 東経 140° 1' 48.21"  
 分岐点からの距離 2.16km

写真：右  
 中原工業有限会社前から、椎津新田か  
 らの道との交差点方向を望んだもの。  
 写真左に車が見えるが、この車と杉林  
 の間を椎津新田からの、久留里新西往  
 還が通っている。この道路と交差し更  
 に久留里街道方向に進む



写真：左  
 路の向こうは中原工業有限会社。  
 明治時代の陸軍「迅速測図」によると  
 久留里新西往還は中原工業(街)の裏側を  
 通っていたように見える。  
 今では、実際に歩いてみても推測でき  
 る跡もない。

写真：右

写真の車の止まっているところが、現在の椎津新田からの道である。この道を奥側に直進すると、平成通りを横切り、房総街道に出る。  
久留里新西往還は、手前側に進む。



写真：左

桜台方面に向かってきた久留里新西往還は、新しい道から右に入り進む。  
袖ヶ浦市椎津 標高 54.3 m  
北緯 35° 26' 34.79"  
東経 140° 2' 26.73"  
分岐点からの距離 5.36 km

写真：右

進むと柵で進行出来なくなる。  
現在は「東京都千葉福祉園」となっている。  
ここから先は、県道24号線千葉・鴨川道路（現久留里街道）の掘割に向かう。



右：写真1（市原市椎津）

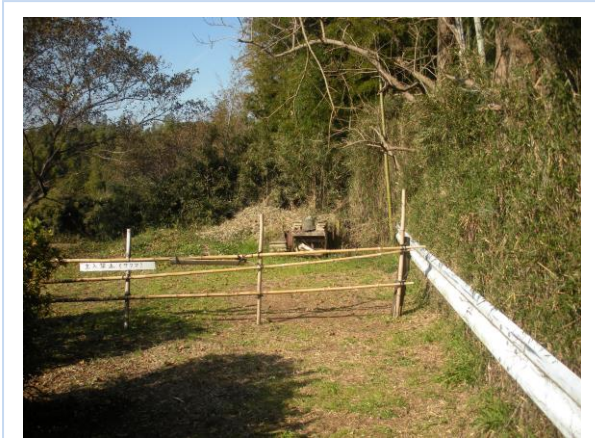
現久留里街道（県道24号千葉・鴨川道路）の三叉路交差点で、戸田プロット有限会社側から撮ったもの。車列の両側の高台が久留里新西往還が通っていた場所である。（黄色点線）。

手前：姉崎・千葉方面

右：平成通り方面

奥（車列側）：久留里・鴨川方面





左：写真2

ロープが張られている先が写真1の現・久留里街道の掘割になる。ガードレールより右側が桜台二丁目で左側が市原市椎津になる。西往還の左や先は畑になっている。私が現地を訪れた時には40歳程の女性が畑作業をしていた、「この道が旧久留里道ですね？」と問うたら「そう聞いてます。」と答えてくれた。



左：

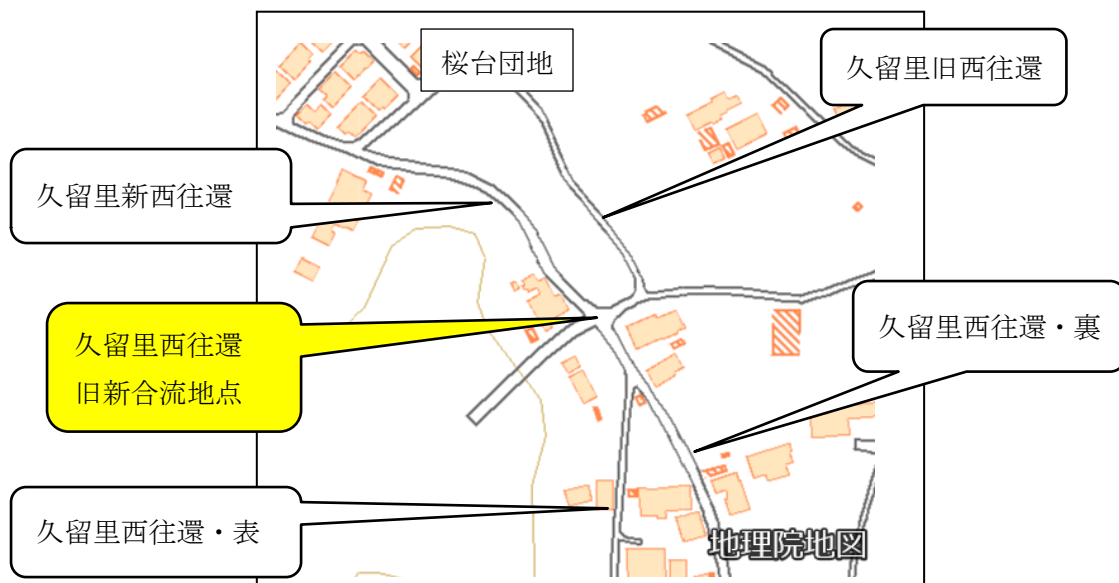
ガードレールの下側には、桜台や遠くに椎の木台の住宅地が望める。この旧道がある丘は、海拔高度約59m程ある。直下の桜台二丁目はここから約15m程低い。当然乍、現久留里街道の掘割を渡った対面の高台も標高は約59mである。


右：

写真2方向から進んできた「久留里新西往還」は更に写真奥方向の久留里に向かって進む。

左側が桜台三丁目、右折路の手前が椎津  
右折路に接しているブロック塀の家天羽田になる。





上: 久留里新西往還方向から新旧合流地点  を望む





道標

写真矢印方向から、即ち久留里方面から来た方に読める面には、下記のように刻まれている

左：

この写真の場所は、三叉路になっている。天羽田で牛を飼っている田中さんに教えてもらった、表と裏往還の別れるところである。

右に行くと「久留里西往還・表」、左に行くと「久留里西往還・裏」。角には右側に「青面金剛」、左に「道標」が建っているが、彫が浅いのか、風化が進んだのか残念乍、道標の文字は今の私には判読が出来ない。

2019年2月9日小雪が降った。

12日道標の側を通って、読めない部分を雪でこすり洗いをしていたら少しづつ見えてきた。

西  
十間ニテ分枝点アリ

左 長浦村代宿

右 山谷経テ姉崎



上：三叉路に建つ、  
左の道標と  
右に三猿の上に乗っている青面金剛